

専任！  
地域密着型空き家コンシェルジュ

～つなげる輪・つながる輪～

～はじめに～



「空き家問題」について

突然ですが、皆さんは空き家問題について考えたことはありますか？

そこに従事している方や「空き家問題」に直面していない方のほとんどは「NO」と答えたのではないのでしょうか。

実際、私も直面するまでは「NO」でした。しかし、昨年度、故郷の長崎にある実家と祖母の家が当時に空き家となってしまいました。

引き取り手がなかなか見つからず、苦勞している両親を見て何かできないかと考えたのが今回の「夢アイデア」のきっかけです。



# 空き家の実情と社会問題化

総務省が令和元年9月30日に公表した「平成30年住宅・土地統計調査」によると日本の総住宅数6,240万7,000戸に対して空き家数848万9,000戸で、空き家率は13.6%となっています。総住宅数、空き家数、空き家率共に過去最大の数値となりました。

それに対して日本の人口は少子高齢化に伴い、減少し続けています。令和2年2月には1億2,600万人まで減っています。つまりは人口が減っているのにも関わらず、総住宅数は増え続けており、一方で利活用されていない空き家がどんどん増えているのが今の日本の状況です。



# 空き家によるデメリット



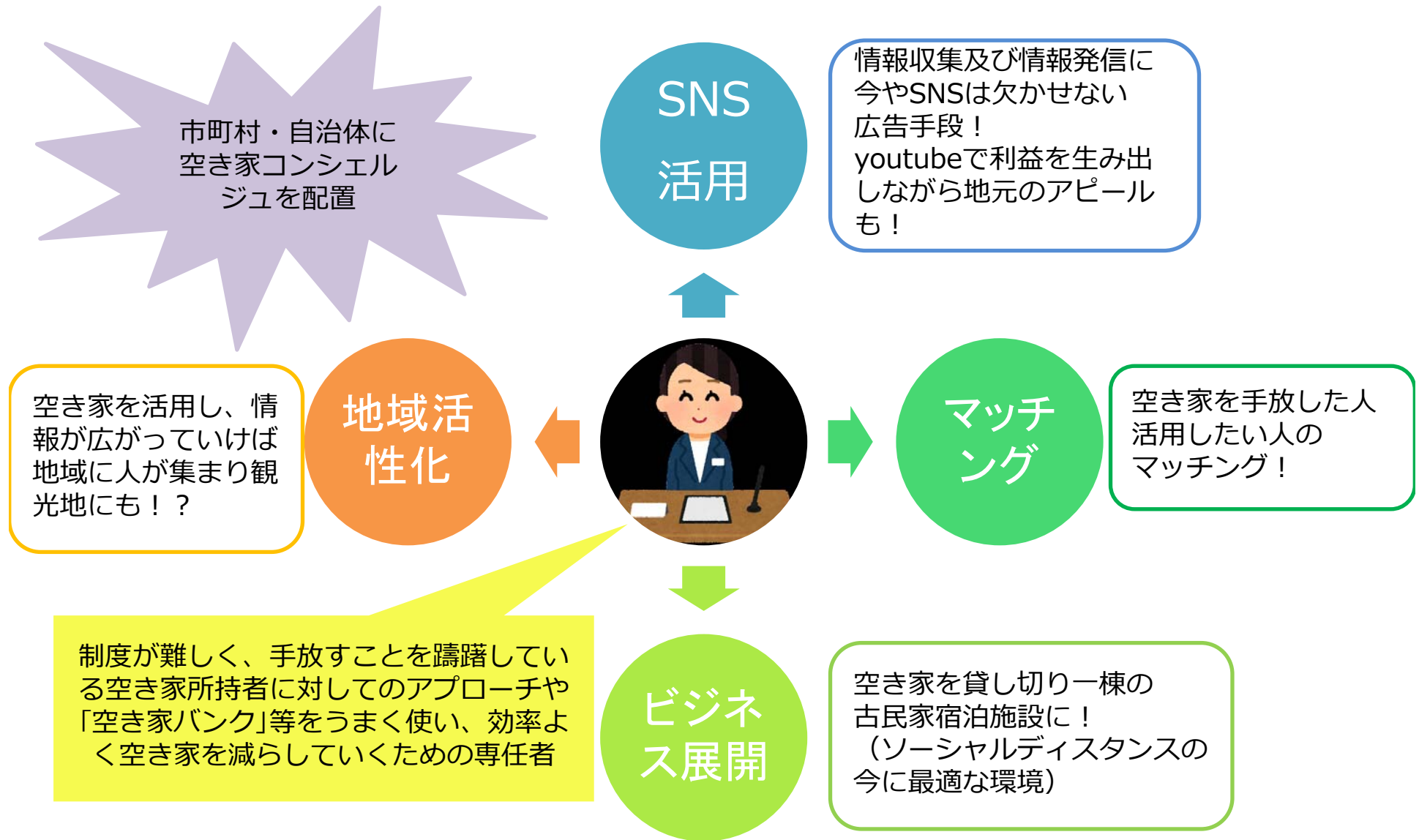
固定資産税が  
課される

- 場合によっては固定資産税の負担が最大で6倍になってしまう可能性があります。

空き家対策特別  
措置法による固  
定資産税の増額

- 空き家が近隣住民に悪い影響を及ぼしているといったことが認められた場合に、行政措置等取られるもので、具体的には「家が建っていれば土地の固定資産税が6分の1になる」という特例の適用を受けられなくなります。

# 提案したい！あなたの街の空き家コンシェルジュ



## ～最後に～

今回、ご提案させていただきました「空き家コンシェルジュ」は私にとって夢への第一歩となりました。

現在、私は社会福祉士になるための勉強に励んでいます。将来は「地域福祉」に根付いた福祉の第一線者として動いていきたいです。

この「空き家コンシェルジュ」のようにこれからも様々な夢アイデアを沢山考えていき、いろんな分野に派生して地域を盛り上げていければと考えます。

そしてその先にある複雑化している福祉問題の解決の糸口を見つけていくことが目標です。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

# 参考文献

- 統計局HP.「平成30年住宅・土地統計調査」.  
<http://www.stat.go.jp/data/jyutaku/index.html>, (2021.9.13)
- 国土交通省HP.「令和元年空き家所有者実態調査」.  
[https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/R1\\_akiya\\_syoyuusya\\_jittaityousa.html](https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/R1_akiya_syoyuusya_jittaityousa.html),(2021.9.13)
- 平成27年版厚生労働白書  
<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/15/dl/1-00.pdf>,(2021.9.13)